

高校生 I C T 2022 Conference

in 福岡

～テーマ～

デジタル社会における学び方と学びの場

ーオンライン環境で「出来ること」「すべきこと」

開催報告書

2022年9月23日(金・祝)10:30-16:00

【会場】：福岡県中小企業振興センター202 会議室

主催

福岡県青少年インターネット適正利用推進協議会

高校生 I C Tカンファレンス実行委員会

(構成団体)

一般社団法人安心ネットづくり促進協議会

大阪私学教育情報化研究会

一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会

共催

内閣府、警察庁、消費者庁、総務省、文部科学省、経済産業省

2022年11月15日

目 次

1. 開催概要.....	2
2. 高校生 ICT Conference 2022 地域開催.....	4
3. 高校生 ICT Conference 2022in 福岡 開催概要.....	4
4. 主担当.....	7
5. 高校生 ICT Conference 2022 サミット.....	7
6. 高校生 ICT Conference 最終報告会.....	7
7. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応.....	8

1. 開催概要

名 称：	高校生 ICT Conference 2022 テーマ： デジタル社会における学び方と学びの場 ーオンライン環境で「出来ること」「すべきこと」
主催：	福岡県青少年インターネット適正利用推進協議会 高校生 I C Tカンファレンス実行委員会 (構成団体) ● 一般社団法人安心ネットづくり促進協議会 ● 大阪私学教育情報化研究会 ● 一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会
共催：	内閣府、警察庁、消費者庁、総務省、文部科学省、経済産業省
後援：	一般社団法人全国高等学校 PTA 連合会、全国高等学校情報教育研究会、一般社団法人電気通信事業者協会、一般社団法人全国携帯電話販売代理店協会、一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会、特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構、独立行政法人情報処理推進機構、一般財団法人マルチメディア振興センター、一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構、福岡県公立高等学校長協会、福岡県公立高等学校 PTA 連合会、福岡県私学協会
協賛：	グーグル合同会社、株式会社ラック、日本マイクロソフト株式会社、株式会社メディア開発総研、株式会社ディー・エヌ・エー、Bytedance 株式会社、グリー株式会社、アルプス システム インテグレーション株式会社、エースチャイルド株式会社、一般社団法人全国携帯電話販売代理店協会、株式会社サイバーフェリックス
協力：	株式会社内田洋行、株式会社 NTT ドコモ、KDDI 株式会社、ソフトバンク株式会社、デジタルアーツ株式会社、一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構、ストップイットジャパン株式会社
開催目的：	<p>高校生 ICT Conference は、2011 年度に「ICT プロジェクト 高校生熟議 in 大阪～ケータイ・インターネットの在り方&活用法～」として大阪でスタートしました。2012 年度は、東京開催を加え計 17 校 79 人の高校生が参加、その後順次規模を拡大し、2021 年度には、全国 15 拠点にて開催し、計 73 校 278 人の高校生が参加しました。</p> <p>高校生 ICT Conference の開催目的には、二つの側面があります。その一つは、教育的側面であり、初対面の人と話し合うという経験の中で、段階的に「考え、まとめる、聞く、話す、見せる、伝える」などの技術を修練することです。第二に社会的に注目を浴びている携帯電話やインターネットをテーマとすることで、大人になる準備段階として、携帯電話やインターネットを安心して安全に使うために、高校生として情報モラルについて自ら深く考え、実践することで、将来のより良いインターネット利用環境の構築の一助とすることです。</p> <p>【本年開催テーマのコンセプト】 2019 年 12 月に感染が始まった新型コロナにより、それ以前の日常は激変し、人と</p>

	<p>人が直接接する機会をなるべく減らす新しいコミュニケーションの時代に入ります。学校においては同年代が集まり語り合い、切磋琢磨するこれまでの姿はなくなり、分散登校やオンライン授業の導入、マスクの常時着用や部活動の制限による社会的距離の確保を前提とする学校生活に変わりました。中でも、高校生に大きな影響を及ぼしているのがオンライン授業の広範囲な導入です。</p> <p>コロナの完全終結は未だですが、ワクチン接種や治療薬の開発が進み、少しずつ新たな生活スタイルの模索が始まっています。これから始まる新しい生活スタイルはどうなるのか、新型コロナにより待たなしで始まった現在のデジタル社会はどう変わるのか。オンラインをテーマに問題点や課題を洗い出し、新たなデジタル社会への希望とこれまでとは違うライフスタイルへの期待を明らかにする。</p> <p>※平成 21 年 4 月から施行された「青少年インターネット環境整備法」に基づき、青少年が安心・安全にインターネットを利用するための環境整備が始まった。民間の自主的・主体的取組が鋭意進められていると共に、行政に於いても施行状況の検討が進められている。一方、新学習指導要領が平成 23 年度の小学校を皮切りに、平成 24 年は中学校、平成 25 年度は高等学校で全面实施される。また、急速に普及を始めたスマートフォンや新しい ICT（情報通信技術）サービスにおいて、青少年が健全に ICT を利活用できるように育成するため、青少年への指導に加え、保護者や教職員への「情報モラル教育」の啓発活動が重要視されている。スマートフォンの登場などにより急速に変化したインターネット利用環境下における諸問題について議論し、高校生が家庭や学校で取組むべき課題とともに、行政、事業者等への要望について本取組で提案し参考に資する。</p>
開催の概要：	<p>【各開催地での内容】※日程は、2. 地域開催の欄をご覧ください。</p> <p>(1) 挨拶 (2) 講演 (3) アイスブレイク (4) 熟議 (5) グループ発表 (6) 講評 (7) サミット参加者発表</p> <p>【東京サミット】</p> <p>(1) 挨拶 (2) アイスブレイク (3) 提言のための熟議 (4) 提言発表 (5) 講評 (6) 最終報告会参加者発表</p> <p>【最終報告会】</p> <p>(1) 各府省庁への提言発表（プレゼン） (2) 質疑応答・意見交換</p>
各開催地	募集参加生徒 30 名（各開催地により変動あり）
募集人員等：	募集見学者各回 30 名（各開催地により変動あり）
参加参観方法：	参加費・参観無料 [要事前登録]
高校生 ICT Conference 実行委員会：	<p>【委員長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 米田謙三（大阪私学教育情報化研究会 副会長） <p>【コアメンバー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石田幸枝（公益社団法人全国消費生活相談員協会 IT 研究会理事・消費者団体訴訟室長） ・ 植田 威（特定非営利活動法人 NPO 情報セキュリティフォーラム理事）

	<ul style="list-style-type: none"> • 小城 英子（聖心女子大学） • 他、関係者団体、事業者等 <p>【事務局】 一般社団法人安心ネットづくり促進協議会 〒104-0041 東京都中央区新富二丁目4番5号 ニュー新富ビル4階 TEL: 03-6280-4901</p>
--	--

2. 高校生 ICT Conference 2022 地域開催

高校生 ICT Conference 地域開催では参加した高校生がテーマに沿った議論を実施し、サミットへ行く代表者を選抜します。

開催地	開催日時	会場
北海道	10月2日	オンライン
茨城	10月15日	茨城県立石岡第一高等学校
東京	9月19日	情報セキュリティ大学院大学東京オフィス
新潟	8月18日	オンライン
石川	10月2日	金沢勤労者プラザ
長野	10月15日	オンライン
静岡	9月11日	専門学校 静岡電子情報カレッジ
大阪	9月18日	オンライン
奈良	10月9日	帝塚山大学
高知	8月16日	オーテピア
福岡	9月23日	福岡県中小企業振興センター
長崎	8月20日	オンライン
大分	9月19日	大分市
全国オンライン	10月10日	オンライン
サミット	11月3日	情報セキュリティ大学院大学東京オフィス
最終報告会	12月15日	

3. 高校生 ICT Conference 2022in 福岡 開催概要

概要	<p>高校生、中学生、教員、企業関係者など 53 名の参加者を得て、「中高生 ICT カンファレンス」として、“デジタル社会における学び方と学びの場 オンライン環境で「出来ること」「すべきこと」”をテーマに、中高生がグループに分かれて活発な議論と発表を行いました。</p> <p>【リアル熟議】 司会進行・主旨説明 福岡県人づくり・県民生活部私学振興・青少年育成局青少年育成課 支援係長 佐藤 政幸 様</p> <p>高校生 ICT Conference の概要及び本日の大まかな流れを説明しました。</p> <p>開会の挨拶 福岡県人づくり・県民生活部私学振興・青少年育成局青少年育成課 課長 富松 文夫 様</p> <p>・昨今、学校においても、1人1台端末、高速回線の導入など、ICT 環境の整備が</p>
----	--

急速に進み、青少年にとってインターネットがより身近な存在となっている。

・一方で、児童生徒がインターネットを介した誹謗中傷、いじめや犯罪被害に遭ったり、一日中SNSでのやり取りやオンラインゲームに夢中になり「ネット依存」の状態におちいつたりするなどの問題も懸念されている。

・本日は、生徒の皆さんには、協力しあって、オンラインの問題点や課題を洗い出しながら議論を深め、理想とするコミュニケーションの未来像などを考えていただきたい。

・大人には思いつかないような新鮮な提言が出てくることを期待している。

来賓の挨拶

総務省九州総合通信局 情報通信部 電気通信事業課長 福島 生紀 様

総務省は幅広い業務を担当しており、その所管の中に通信・放送もある。新型コロナの流行で私たちの生活は大きく変わり、社会的距離の確保の必要から新しいコミュニケーションが求められている。オンライン授業やオンラインでの意見交換はなかなか難しいところもあるが、オンラインで新しい可能性やライフスタイルも広がっている。是非ポジティブに捉え新しい価値を創造して欲しいとご挨拶をいただきました。

第一部：事業者による講演

NPO法人子どもとメディア専務理事（筑紫女学園大学教授） 原 陽一郎 様

・デジタル化とは、大量のデータから、物事の一部分を抽出し、それ以外の情報を捨てたものを基本とすることであると理解した上で、改めてコミュニケーションについて考えていただきたい。

・デジタルの音声は、信号化し整理されることで、情報が落ち、前後の繋がりがなくなることによって、声の通りのやわらかさなどが消えていく。例えば今の電話はデジタルなので、本当の相手の声が聞こえているわけではなく、実際と少しかけ離れている。

・今の若い世代は、デジタル化、抽象化された世界との関係が重視され、具体的に実体験が不足している傾向があると感じられる。

・ある物を等分にすること、数値化、抽象化した計算で考えて出すこととは早いですが、実際に手で動かして、具体的な等分作業を行うとすぐにはできないなど。

・今日の学びの場として、ICT、デジタルが便利な道具である部分もあるが、情報が落ちやすい部分もあることへの考え方をもち、経験とのつなぎ合わせが必要であることを認識した上で、本日の議論を進めていただきたい。

第二部：熟議「デジタル社会における学び方と学びの場—オンライン環境で「出来ること」「すべきこと」

(熟議進行) **NPO法人子どもとメディア 事務局長 黒田 可奈子 様**

アイスブレイク、自己紹介、熟議

5つのグループに分かれ、熟議に入る前に、各グループ内で自己紹介などを実施

	<p>しました。</p> <p>福岡県立大学で子どもサポーターとして活動する学生及び県職員が、ファシリテーターとして各グループに入り、中高校生の熟議をサポートしました。メモや付箋紙を活用しながらホワイトボードシートに貼り付けて意見を整理分類しまとめていきました。</p> <p>第三部：グループ発表</p> <p>各グループともプレゼンテーションソフトを活用して3分程度の発表を行いました。（詳細は別紙「グループ発表資料」をご参照ください）</p> <p>その後、参加生徒とファシリテーターにより、11月3日に開催される東京サミットへの参加代表となる班の投票を行い、選定された2班の中から福岡県立糸島高等学校の生徒が代表者に選出されました。</p> <p>高校生 ICT Conference 実行委員会 高木 健治 事務局員より本日の感想をいただきました。</p> <p>最後に、福岡県立大学教授、福岡県青少年インターネット適正利用推進協議会 松浦賢長 副会長より総括講評が行われました。</p>
参加校：	<p>福岡県立糸島高等学校 福岡県立明善高等学校 福岡県立輝翔館中等教育学校 福岡市立西陵中学校 糸島市立志摩中学校 粕屋町立粕屋東中学校（順不同）</p>
日 時：	2022年9月23日（土） 10:30-16:00
場 所：	福岡県中小企業振興センター（福岡市博多区吉塚本町9-15）
参加人数：	<p>熟議参加生徒 29人（高校生11名、中学生18名） 見学者・関係者 24人（教員・教育関係者・ファシリテーター・その他） 合計： 53人</p>
熟議グループ：	<p>熟議参加者が中高生のため匿名とさせていただきます。（敬称略）</p> <p>【1班】6名 福岡県立糸島高等学校1年生2名、福岡県立明善高等学校2年生、福岡市立西陵中粕屋町立粕屋東中学校2年生2名 〔ファシリテーター〕 福岡県立大学1年生</p> <p>【2班】6名</p>

<p>福岡県立糸島高等学校 1 年生、福岡県立輝翔館中等教育学校 2 年生、糸島市立志摩中学校 2 年生、粕屋町立粕屋東中学校 2 年生 3 名 〔ファシリテーター〕 福岡県立大学 1 年生</p> <p>【3 班】 6 名 福岡県立糸島高等学校 1 年生、福岡県立明善高等学校 2 年生、糸島市立志摩中学校 2 年生、粕屋町立粕屋東中学校 2 年生 3 名 〔ファシリテーター〕 福岡県青少年育成課職員</p> <p>【4 班】 6 名 福岡県立糸島高等学校 1 年生、福岡県立輝翔館中等教育学校 2 年生、糸島市立志摩中学校 2 年生、粕屋町立粕屋東中学校 2 年生 3 名 〔ファシリテーター〕 福岡県青少年育成課職員</p> <p>【5 班】 5 名 福岡県立糸島高等学校 1 年生、福岡県立輝翔館中等教育学校 2 年生、糸島市立志摩中学校 2 年生、粕屋町立粕屋東中学校 2 年生 2 名 〔ファシリテーター〕 福岡県青少年育成課職員</p>
--

4. 主担当

一般社団法人安心ネットづくり促進協議会	事務局
福岡県青少年育成課	会場、什器備品手配 飲食手配、庶務
各団体、事業者等	講演、ノベルティ、資料提供 他

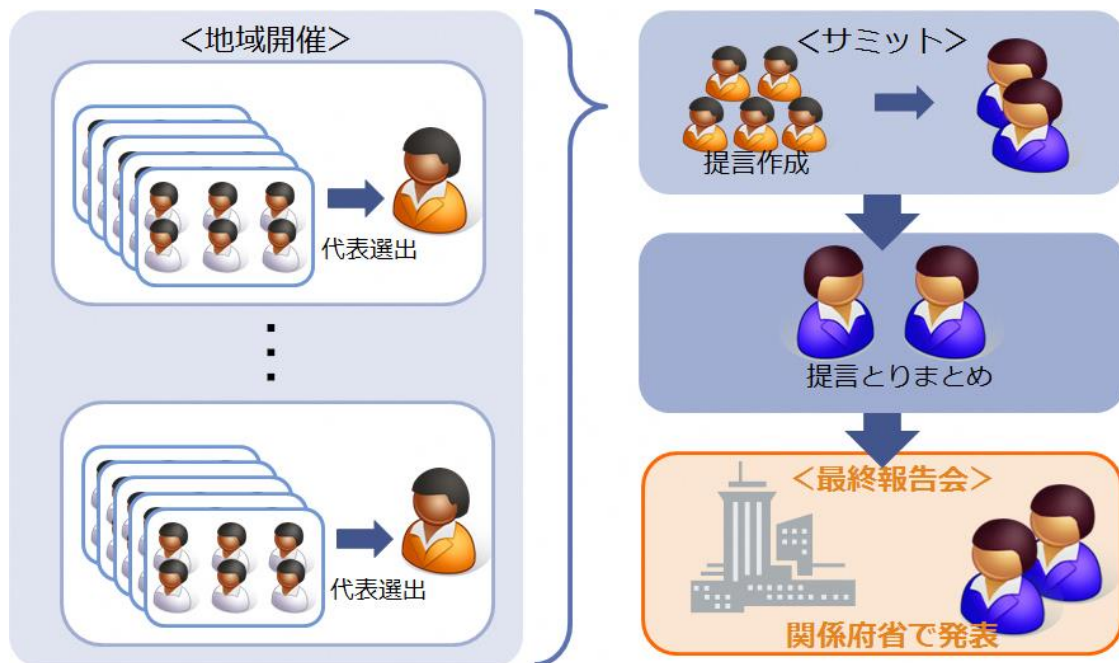
5. 高校生 ICT Conference 2022 サミット

高校生 ICT Conference 2022 サミットは、各地で開催された Conference の成果を高校生の代表として提言をまとめるための場です。その代表者の選考は以下の手順によります。

- 1) 参加が決まった場合、参加生徒を決めていただき、事前に登録をする
- 2) 熟議終了後、参加生徒の投票を基に代表を選出
- 3) 各地の代表者でサミット開催
- 4) サミット終了後、最終報告会で発表する代表を上記手順と同様に選出
- 5) 最終報告会代表者が、サミットの内容を提言にまとめ、最終報告会で提言発表を行う

6. 高校生 ICT Conference 最終報告会

高校生 ICT Conference 2022 サミットで検討された提言を、選出された代表者が報告用にとりまとめ、関係府省庁にて報告を行うとともに、関係府省担当者との意見交換によりコミュニケーションを踏る。



7. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応

- 1) グループ発表資料保存（又は模造紙など発表紙面の撮影）
- 2) Conference 終了後、発表内容、講評と併せて高校生 ICT Conference のサイトにアップデート
- 3) 高校生 ICT Conference 2022 サミット終了後、実行委員会にて取りまとめ
- 4) 高校生 ICT Conference 2022 サミット代表者による最終報告会用資料の作成
- 5) 最終報告会での発表

以 上